

## 平成 29 年度 地域 ICT 推進協議会 第 9 回 U-35 委員会 議事録

日 時：2018 年 1 月 16 日(火) 19:00～20:45

場 所：(株)システムリサーチ 神戸支店

参 加：秋國、孫子、大寺、奥村、加納、久保、白浜、寺坂、服部、中嶋(記録)

### 1. 議事

(1) 次回イベントについて(担当:久保、白浜、中嶋)

#### 【担当からの報告】

12 月 18 日(月)、担当 3 名で次回イベントに向けたミーティングを実施。

イベントの概要を以下の通りとしたい旨をまとめた。

COPLI の課題を解決するアイデアソンを開催してはどうか？

(若者が COPLI に参加したくなるアイデア)

(若者のアイデアで COPLI を変えよう！アイデアソン)

- ・商品もしくは賞金を COPLI(U-35 予算にこだわらなくても良い)から出す。
- ・会場も一工夫して参加動機に繋げられれば！(THE 神戸的な場所(市役所や県庁など)も◎)
- ・U-35 のテーマである「交流」も前面に押し出したい。
- ・初心者に向けたアイデアソンの説明も取り入れたい。
- ・優秀アイデアに対する賞は賞状ではなく飾れるようなトロフィーや盾などがベター。
- ・「若手の成長」も U-35 のテーマなのでチーム全員がプレゼンできるようにしたい。(アイデアを 4 つプレゼンしてもらおうとか)

#### 【結論】

U-35 メンバーにて承認。

次回イベントは上記概要に沿ったイベントとする。

開催時期は 2 月もしくは 3 月。

(2) COPLI 次の 10 年を見据えた企画について

#### 【経緯】

今年度総会で発表された「向こう 10 年を見据えた COPLI 事業の再定義を検討する年とする」という方針に基づき、これまで幹事会と事務局が中心になって検討を進めてきた。

その中で、「ターゲットを絞り、そのニーズに沿った取り組み(企画)を各委員会で実施する」という方向性が生まれ、ターゲットは「若者」とすることに。

2017 年 11～12 月、幹事企業に在籍する若者を中心にニーズ調査が行われ、ペルソナが作成された。

ただ、幹事会メンバーではペルソナとの世代差が大きいため、よりペルソナに近いメンバーが集まる U-35 に取り組み(企画)についての意見を求めることとなった。

『若者のニーズに沿った取り組み(企画)とは？』

## 『どうすればその取り組み(企画)が若者に受け入れられるか?』

### 【意見(U-35メンバーが事前に各社で行ったヒアリング結果も含めて)】

- ・今の若者は全体的に「リスクを取らない」「チャレンジをしない」という性格が見られるため、その気にさせるのが難しい。たとえ自分のためになることであっても、コストを払うのはためらう傾向にある。
- ・成功体験を中心に積んできた世代。失敗しそうなことは先に教えておいて欲しいという考え方が多い。
- ・U-35メンバーである孫子氏や寺坂氏は若者世代でありながら、ペルソナとは異なるタイプ。孫子氏や寺坂氏のような若者を中心に取り組み(企画)をスタートさせ、ペルソナを巻き込んでいく方法はどうか?  
⇒巻き込む側の若者が必須。そうした若者がいなくなってしまうと何も進まなくなる。ペルソナ本人に働きかけるような取り組み(企画)はないか?
- ・LT会や勉強会と称して若者同士が自然発生的に集まるというケースは比較的ある(「こんな勉強をしておくとうまいよ」などと投げかけ、放っておけば案外自然と集まって勉強を始めた)。ただし、年齢の近い者同士でしか集まらない(世代をまたがない)傾向が強い。
- ・オンラインでの交流は日頃頻繁に行っており、たまに開催されるオフ会への参加はさほど苦にならない。
- ・「勉強したい」「成長したい」という意欲が無いわけではないが、時間や場所を制約されるセミナーは億劫になることが多い。オンラインでの参加であればハードルは高くない。

### 【結論】

取り組みを変えるのではなく、ICTを活用して若者がCOPLIに参加しやすい環境を構築してはどうか?

- ・オンラインでの交流を推進  
若者は匿名での参加。幹事や委員会メンバーなどは所属も名前も明かして参加。オフラインが苦手な若者でもリスクを負うことなくコミュニティ(COPLI)に参加できる環境を構築。  
委員会やワークショップをオンライン中心に開催し、自由に若者が出入りできる環境に。ただし、セミナーやイベントはこれまで通りオフラインで開催(オンラインセミナーなどがあっても良い)。オンラインを通じてCOPLIを知ってもらうことでCOPLIと若者の距離感を縮め、オフラインイベントへの参加ハードルを下げる。
- ・交流のハードルを低く  
委員会やワークショップだけでなく、雑談ができたり、趣味を共有できたり、悩みを相談できたりと多様な交流の場を用意。「入社1年目の部屋」や「AIについて語る部屋」など。
- ・プラットフォーム  
Slackなどビジネスチャットツールを利用。

『ICTを活用して組織を超えた新しい組織の形を作る』を次の10年を見据えた取り組みにしてはどうか?

### (3) 次回イベントについて(追加)

議事2の結果を踏まえ、次回イベントとして行うアイデアソンのテーマを以下とする。

「ICT(オンライン)を活用した新しい組織のアイデアを考える」

- ・アイデアソン開催以前からSlackで参加者同士のコミュニティを形成。オフラインイベントへの参加ハードルを

下げる試みを行う。

- ・「次の10年を見据えた企画」検討へのご協力を仰ぐ形として、幹事企業の若手社員にも参加いただく。

## 2. お知らせ

下記日程にて、授業「Co+work」の発表会を開催。

見学希望者は奥村先生まで。

日時：2018年1月25日(木) 13:00～14:30

場所：明石工業高等専門学校

## 3. 次回開催予定

日時：2018年2月6日(火) 19:00～

場所：神戸市役所 1号館 11階 ミーティングルーム

以上